

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 99 2021年6月4日 JR東労組

申13号「2021年度夏季手当等に関する申し入れ」第2回交渉報告

これがJR東労組の主張だ

黒字予想・足元の業績から回答は昨年以上で満額だ!



組合の主張

会社回答

- ① 2020年度は5,066億円の赤字。2021年度は250億円の黒字
 - ② 対前年のGWの新幹線・特急列車のご利用状況は626%
 - ③ 4月の対前年の利用状況は定期外収入で近距離263.6%、中長距離1274.9%、計214.8%
- 上記の理由から、回答は昨年以上で満額とすべきだ。

手当は、足元の業績を踏まえて検討する。決算のみならず、足元の状況ならびに経済の状況、長期的な経営環境、内部要因、世間動向も踏まえて、全体を見て慎重に判断する。



不安や不満の声に対し、噛み合わない回答を繰り返す!
 会社回答は生活実感に重き置いて触れられていない!
 会社は生活実感に重きを置いた判断をすべき!

| 第2回交渉での組合の主な主張 | 第2回交渉での会社の主な主張 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> □ 年収が下がっている現実の中で各種ローン、養育費などを手当で補ってきた。生活費の補てんをしなければいけない。旅行も行けない。生活費が足りない、貯蓄も出来ない中で、持ち家を推奨しているが、社宅居住者は退去期限が迫っている方もいる。 | <ul style="list-style-type: none"> □ 当社の状況も新型コロナウイルス感染症により収益状況が大幅に悪化している。 □ 持続的な成長につなげるために、働きがいや幸福を生み出す好循環を生み出したい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> □ 多くの組合員、社員が一般的なボーナス払いを組んで支払っている。それをしっかり受け止めていただきたい。 | <ul style="list-style-type: none"> □ 社員それぞれライフスタイルについて、個々に違う。 □ しっかりと今年度の目標の黒字を実現することを念頭におきながら、持続的な成長を行って、社員と家族の幸福の実現を実現したい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> □ 年収が1割減ったことによる生活への影響と、さらには定期昇給も半分となっている現実から将来への不安が増している。 □ 新入社員の声として奨学金の支払いがあり、月々の給料は食費にしか使っていない。 □ やりがいだけじゃ生きていけない。夢を持って入社したのに残念だといった落胆する声もあり、夢や希望が持てるような魅力ある企業にしていくべきである。 | <ul style="list-style-type: none"> □ 貴側の主張や社員の声については、こちらも承知している。先程からも述べているとおり、ライフスタイル、新幹線通勤、奨学金返済については個別事案となる。一概に述べられない。繰り返すが、当社の目下の状況は新型コロナウイルス感染症によって収益状況が悪化し、これまで以上に収益が戻りにくい。全社員一丸となって経営状況を乗り込ませていく。 |
| <ul style="list-style-type: none"> □ 1人ひとりの個別事案ということだが、夏季手当が生活給になっている。夏季手当が出なければいけないと生活出来ないという率直な声が出ている。会社はどう向き合っていくのか。 | <ul style="list-style-type: none"> □ 新たな価値の創造、究極な安全に向けた技術革新を担うのは成長と意欲である。活躍フィールドを拡大して、現業機関における柔軟な働き方の実現についてと施策を提案した。 |
| <ul style="list-style-type: none"> □ 回答が噛み合っていない。多くの組合員が(夏季手当が)生活費となっている。この事実を会社は掴んでいるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> □ 社員の支出については様々なケースがあるので、一概には言えない。 |
| <ul style="list-style-type: none"> □ 夏季手当の使い道の多くが生活費になっているのは受け止めるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> □ 先ほどから意見頂いて、貴側からそのような主張があるということとは承知している。 |

回答指定日は6月11日 要求貫徹へ向け全組合員で闘いをつくり出そう